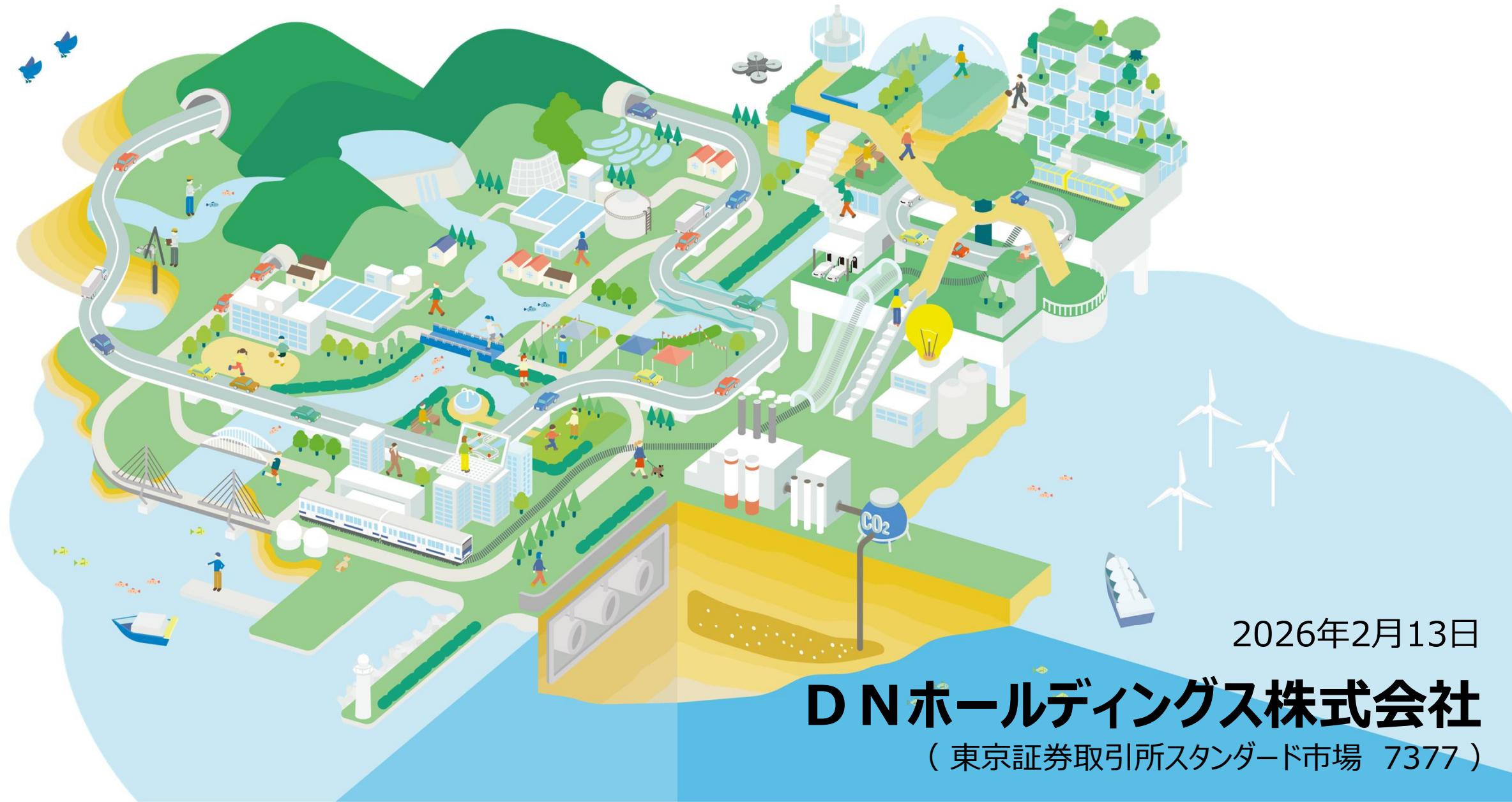


2026年6月期第2四半期（中間期）決算補足資料



2026年2月13日

DNホールディングス株式会社
(東京証券取引所スタンダード市場 7377)

第2四半期（中間期）決算 業績ハイライト

はじめに

当社は、2021年7月14日付で共同株式移転により、大日本コンサルタント株式会社及び株式会社ダイヤコンサルタントの共同持株会社として発足いたしました。当期は設立5期目となります。

ポイント

- 売上高は、前年同期と比較して増加したものの、積極的な人的投資、業務委託費を含めた諸経費の増加等により、利益面においては前年同期から減益となりました。
- 契約工期が3月に集中するため、売上高及び営業利益は第3四半期に増加する傾向にあります。

(単位：百万円)

区分	2025年6月期	2026年6月期	前年同期比		通期業績予想	
	中間期実績	中間期実績	増減	比率	計画	達成率
売上高	17,442	17,505	63	100.4%	38,000	46.1%
営業利益	914	468	△445	51.2%	2,500	18.7%
経常利益	917	463	△454	50.5%	2,550	18.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	598	252	△346	42.2%	1,780	14.2%
1株当たり中間純利益	73円82銭	30円92銭	△42円90銭	41.9%	218円11銭	14.2%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期（中間期）決算 受注・売上状況（事業別）

ポイント

- 建設コンサルタント事業、地質調査事業ともに受注は堅調であり、前年同期を上回る潤沢な受注残高（業務量）を確保しております。

受注・売上状況

（単位：百万円）

事業区分	受注高				売上高			
	2025年6月期 中間期実績	2026年6月期 中間期実績	前年同期比 増減	前年同期比	2025年6月期 中間期実績	2026年6月期 中間期実績	前年同期比 増減	前年同期比
建設コンサルタント事業	17,046	17,860	813	104.8%	14,806	15,371	564	103.8%
地質調査事業	2,171	2,323	151	107.0%	2,636	2,134	△501	81.0%
合計	19,218	20,183	964	105.0%	17,442	17,505	63	100.4%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

事業内容

事業区分	主要業務	主要な会社名
建設コンサルタント事業	社会資本整備に関するコンサルタント業務のうち、調査・計画・設計・工事監理など	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd. N E テクノ株式会社 株式会社ウエルアップ
地質調査事業	社会資本整備に関する地質調査業務のうち、地質・地盤・地下水・資源の調査・解析	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 有限会社エーシーイー試錐工業

第2四半期（中間期）決算 受注・売上状況（顧客別）

ポイント

- 受注高（顧客別）は、昨年好調だった高速道路会社等が前年同期を下回るものの、地方自治体、電力関連会社が前年同期を上回り、国内事業全体としては前年同期と比較して増加となりました。

受注・売上状況

（単位：百万円）

事業区分	受注高			
	2025年6月期 中間期実績	2026年6月期 中間期実績	前年同期比 増減	前年同期比
国内事業	19,205	20,134	928	104.8%
◆ 中央省庁	6,879	6,862	△16	99.8%
◆ 地方自治体	6,639	7,074	434	106.6%
◆ 高速道路会社	2,275	979	△1,296	43.0%
◆ 電力関連会社	661	2,586	1,925	391.2%
◆ 民間その他(※1)	2,750	2,631	△118	95.7%
海外事業	13	49	36	374.8%
国内・海外事業合計	19,218	20,183	964	105.0%

売上高			
2025年6月期 中間期実績	2026年6月期 中間期実績	前年同期比 増減	前年同期比
17,344	17,415	71	100.4%
6,131	6,508	376	106.1%
5,399	5,460	61	101.1%
1,681	1,431	△250	85.1%
1,325	1,342	17	101.3%
2,806	2,672	△134	95.2%
98	90	△7	91.9%
17,442	17,505	63	100.4%

※1 民間その他には、電力関連業務の一部を含んでおります。

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

トピックス | 土木学会デザイン賞最優秀賞受賞「史跡鳥取城跡擬宝珠橋の復元」



大日本ダイヤコンサルタント株式会社が設計を担当した「史跡鳥取城跡擬宝珠橋の復元」（鳥取県鳥取市東町2丁目地内）が、2025年度土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞しました。なお、本橋は令和元年度 土木学会田中賞作品部門（改築）も受賞しております。

本橋は、堀内の遺構（建設当時の木橋の柱）を保存する観点から、既設コンクリート橋の基礎を活用し、その上にステンレス製水中梁を設置、その上に木橋を復元したものです。文化庁が認めた城郭復元橋としては国内最長(全長約36m、幅6m)となります。

□「土木学会デザイン賞」

公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会が主催する顕彰制度です。2001年に創設され、正式名称は「土木学会景観・デザイン委員会デザイン賞」といいます。

トピックス | 防衛施設の最適化・強靭化への取り組み

【プロジェクト紹介】

自衛隊施設の最適化に伴うマスタープラン作成業務

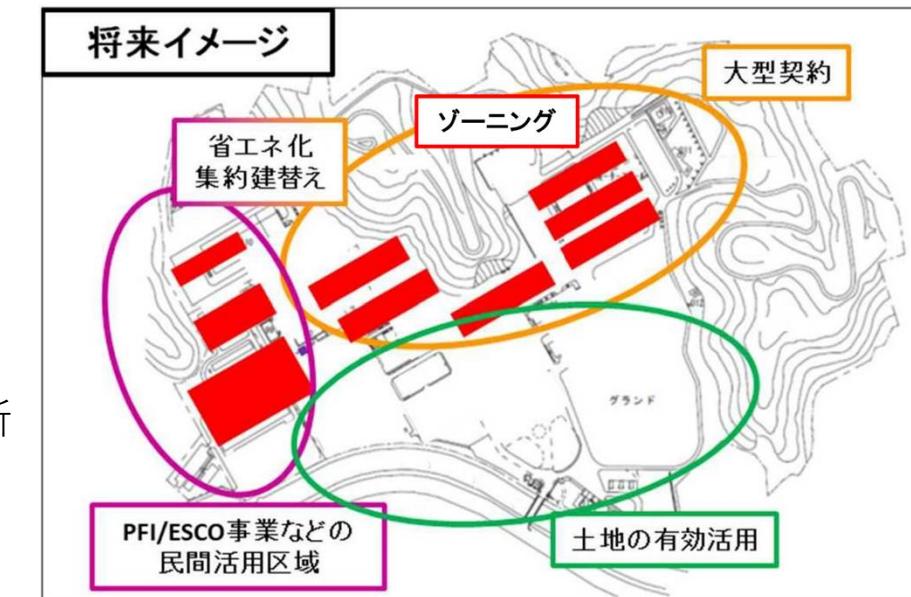
●自衛隊施設の最適化事業

老朽化対策、強靭化（災害・武力攻撃への備え）、コスト縮減、運用効率化、環境配慮を目的に、全国約300地区・基地・駐屯地を対象として再配置・集約化・改修・省エネ化を進める大規模事業です。防衛力整備計画に基づき、現状調査・評価を行い、「マスタープラン」を策定することで効率的な施設管理・運営を目指すものです。

●大日本ダイヤコンサルタント株式会社の取り組み

関東地区、九州地区における最適化マスタープラン（土木分野）の作成に取り組んでおります。主な検討項目は以下のとおりです。

- ・再配置・集約立体化計画を踏まえたユーティリティ、道路等基盤施設の更新
- ・基地全体のゾーニング見直しによる土地利用の高度化
- ・雨水貯留施設や緑地整備などの環境対策
- ・事業工程を含むマスタープランの策定



出典：防衛省整備計画局「自衛隊施設の強靭化に向けて」

トピックス | 活断層調査技術

【保有技術の紹介】

地震リスクを可視化する：高精度活断層調査で災害リスクを低減

大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、地震災害リスク軽減の基盤となる活断層調査から、最終的な活断層の解析・評価までを一貫して提供しております。活断層の位置・形状、活動履歴、将来の活動可能性を精度高く把握するため、「机上検討」「現地調査」「室内分析」の三段階で得られる情報を統合し、総合的な解析につなげます。

- ・机上検討：高精度なDEM (Discrete Element Method) 解析や空中写真判読により、活断層に伴う変動地形を抽出
- ・現地調査：地表踏査に加え、反射法地震探査や地中レーダー探査などの物理探査で地下構造を可視化、ボーリング調査で地層構造や断層破碎帯を直接確認し、トレンチ調査では、地層と断層の関係を詳細に解析
- ・室内分析：放射性炭素年代測定等で断層の活動時期や変位量・活動周期を特定し、断層破碎帯の微細構造分析を含む室内分析も行い、活断層の活動性を高精度で評価

当社グループは、これらの技術を活用し、社会インフラの安全性向上と防災・減災に貢献してまいります。

活断層調査の詳細につきましては、
二次元コードよりご覧いただけます。



写真上：トレント調査
写真下：室内分析

サステナビリティ | デフリンピック2025で銀メダルと銅メダルを獲得！

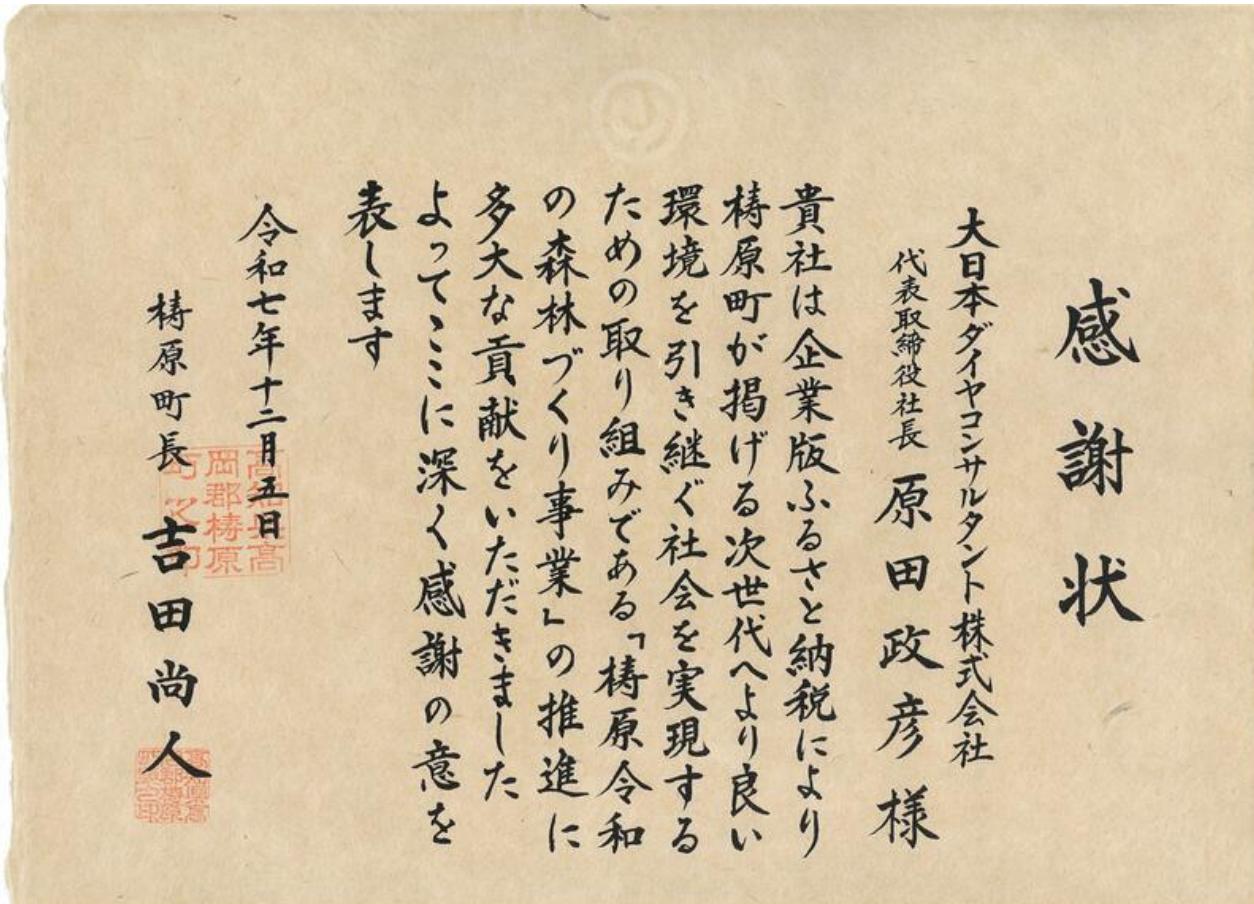


大日本ダイヤコンサルタント株式会社社員の久保南選手が、2025年11月15日(土)～26日(水)に開催された「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」に水泳日本代表選手として出場し、競泳女子50m平泳ぎで銀メダル、4×100mメドレーリレー（予選のみ出場）で銅メダルを獲得しました。

当社には久保選手のほか、車いす卓球・ろう者バドミントン・ボッチャ・パラ陸上・車いすバスケットなど多様な競技で活躍するパラアスリートが在籍し、ダイバーシティ&インクルージョン推進の象徴となっております。

当社グループは、パラスポーツ支援等を通じて、誰もが生き生きと暮らせるサステナビリティ社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ | 企業版ふるさと納税寄付に対する感謝状を受領



大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、高知県梼原町（梼原町長：吉田尚人）が掲げる次世代へより良い環境を引き継ぐ社会を実現するための取組みである「梼原令和の森林づくり事業」の推進に対し、企業版ふるさと納税による寄付を実施し感謝状を授受いたしました。

サステナブルな社会を実現する取り組みは、まさしく当社グループの企業理念「大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く」そのものです。

当社グループは、企業理念の実現にむけ、今後もサステナビリティ活動を推進してまいります。

サステナビリティ | 第11回女性技術者育成功労賞を受賞



大日本ダイヤコンサルタント株式会社の社員2名が、一般社団法人技術同友会より「第11回女性技術者育成功労賞」個人奨励賞を受賞しました。

岩崎は、女性技術者のロールモデルとして活躍し後進の女性技術者のお手本となり、さらに高等学校への出前授業や子供向けの夏休みイベントなど、女性技術者の母数拡大に貢献したことが評価されました。

また齋藤は、一般社団法人建設コンサルタンツ協会中部支部女性の会WGのリーダーとして、女性技術者が活躍できる環境整備に貢献するなど、業界の魅力向上に貢献したことが評価されました。

□女性技術者育成功労賞

一般社団法人技術同友会が女性技術者の活躍を推進・支援するために、女性技術者の育成に顕著な成果を上げた個人(男女を問わず)及び組織の方々の表彰を実施

トピックス | 大日本ダイヤコンサルタント「採用ページ」リニューアル



INTERVIEW — 社員インタビュー —



大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、人的資本経営の重要性が増すなか、人材への投資を強化しております。

当社グループの企業文化「手を挙げればやりたいことができる」の魅力を伝えるため、新卒・キャリア採用サイトを全面リニューアルいたしました。

多様な才能を惹きつけ、未来を共に創造する仲間を募り、人的資本経営の推進とさらなる企業価値向上を目指します。

第2四半期（中期間）決算 連結貸借対照表

決算概要

（単位：百万円）

区分	2025年6月期 期末	2026年6月期 中期間	前期比 増減	前期比	備考欄
流動資産	16,533	22,743	6,210	137.6%	▶ 主な内訳 ・受取手形及び売掛金：1,259百万円 引渡しが完了した受注業務のうち、未入金の金額 ・契約資産：18,318百万円
固定資産	9,021	9,087	66	100.7%	
資産合計	25,554	31,831	6,276	124.6%	進捗度に基づく売上高に対する未入金の金額
流動負債	7,642	14,158	6,516	185.3%	▶ 主な内訳 ・契約負債：1,374百万円
固定負債	2,413	2,438	25	101.1%	受注業務の引渡し前に入金された金額 (契約資産と相殺表示した後の金額)
負債合計	10,055	16,597	6,541	165.1%	経営統合に伴う金融機関からの資金調達残高 1年内返済予定：234百万円 1年超：393百万円
純資産合計	15,498	15,234	△264	98.3%	
負債純資産合計	25,554	31,831	6,276	124.6%	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

財務指標

自己資本比率	60.6%	47.9%	△12.7pt	79.0%
1株当たり純資産	1,897円74銭	1,855円38銭	△42円36銭	97.8%

第2四半期（中期間）決算 連結損益計算書

決算概要

(単位：百万円)

区分	2025年6月期 中間期	2026年6月期 中間期	前年同期比 増減	前年同期比	備考欄
売上高	17,442	17,505	63	100.4%	▶ 収益認識に関する会計基準の適用に伴い、進捗度に基づき売上高を計上
売上総利益	5,505	5,406	△98	98.2%	建設コンサルタント事業 15,371百万円 地質調査事業 2,134百万円
販売費及び一般管理費	4,590	4,938	347	107.6%	▶ 給与水準の引き上げや事業領域拡大へ向けた積極的な人的投資を実施
営業利益	914	468	△445	51.2%	
経常利益	917	463	△454	50.5%	
親会社株主に帰属する 中間純利益	598	252	△346	42.2%	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

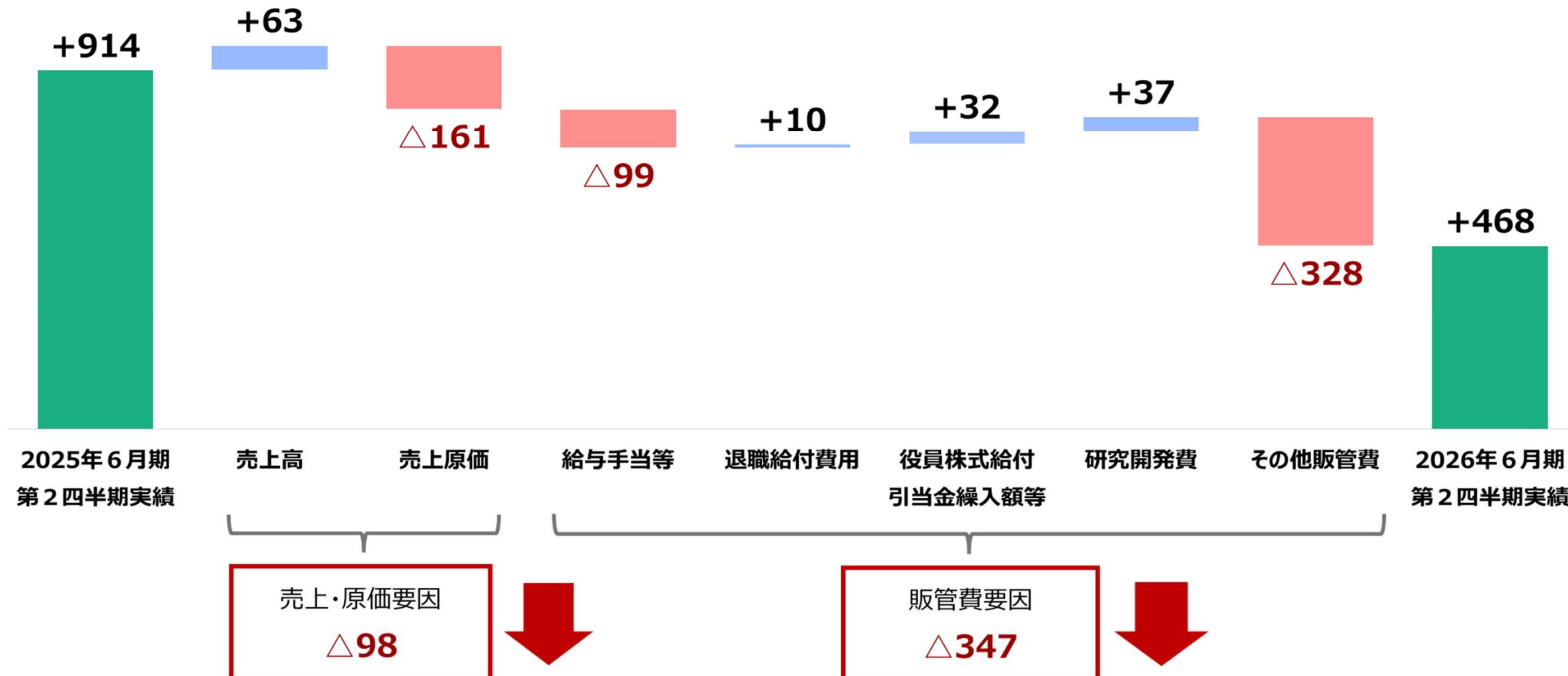
財務指標

自己資本当期純利益率	4.4%	1.6%	△2.8pt	37.1%
総資産経常利益率	3.5%	1.6%	△1.9pt	46.4%

営業利益の増減要因

ポイント

- 積極的な人的投資、業務委託費を含めた諸経費の増加等により、利益面においては前年同期から減益となりました。



研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

ポイント

(研究開発費)

- 防災・減災分野をはじめとするサステナビリティ社会の実現に向けた研究開発

(設備投資)

- 生産性向上に向けた事業会社合併後のオフィス統合及び環境の整備
- DXを促進するための環境の整備

発生状況

(単位：百万円)

区分	2025年6月期 中間期実績	2026年6月期 中間期実績	増減	前年同期比 比率	通期計画 計画	通期計画 計画比
研究開発費	130	93	△37	71.7%	344	27.2%
設備投資	115	197	82	171.4%	427	46.2%
減価償却費	219	228	8	104.0%	393	58.0%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

主な実施事項

- リアルタイムAIモニタリングシステムの研究開発
- 大阪支社・九州支社のオフィス統合の実施、生成AIの実装強化

2026年6月期 業績見通し

(単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
通期計画	38,000	2,500	2,550

【計画の前提】

2026年6月期連結営業利益計画（詳細）

(単位：百万円)

	2025年 6月期 (計画)	2025年 6月期 (実績)	2026年 6月期 (計画)	増減 (前期実績比)
売上高	36,500	36,975	38,000	1,025
原価・販管費	34,050	34,259	35,500	1,241
営業利益	2,450	2,715	2,500	△215



■売上拡大

経営資源の相互活用によるシナジー効果の創出、原子力発電所及び核燃料サイクル関連施設の地質・地盤調査、自衛隊施設（建物等）の耐震化・老朽化対策等の計画・設計、脱炭素社会の実現に向けたエネルギー関連事業（陸上・洋上風力発電、水素利活用、木質バイオマス発電、CCS等）を見込んだ売上高の増加

■売上原価・販売管理費の増加（人的投資）

売上高増加に伴う変動費増加に加え、従業員に対する給与水準の引き上げ、事業拡大に伴う人員増、福利厚生・教育訓練の充実、設備増強

■事業拡大に向けた投資費用

塩分量測定箇所推定AIの構築、都市再生を実現するためのデザインマネジメントの構築、トンネル補修設計自動化、水文観測総合アプリ(DDW)の開発

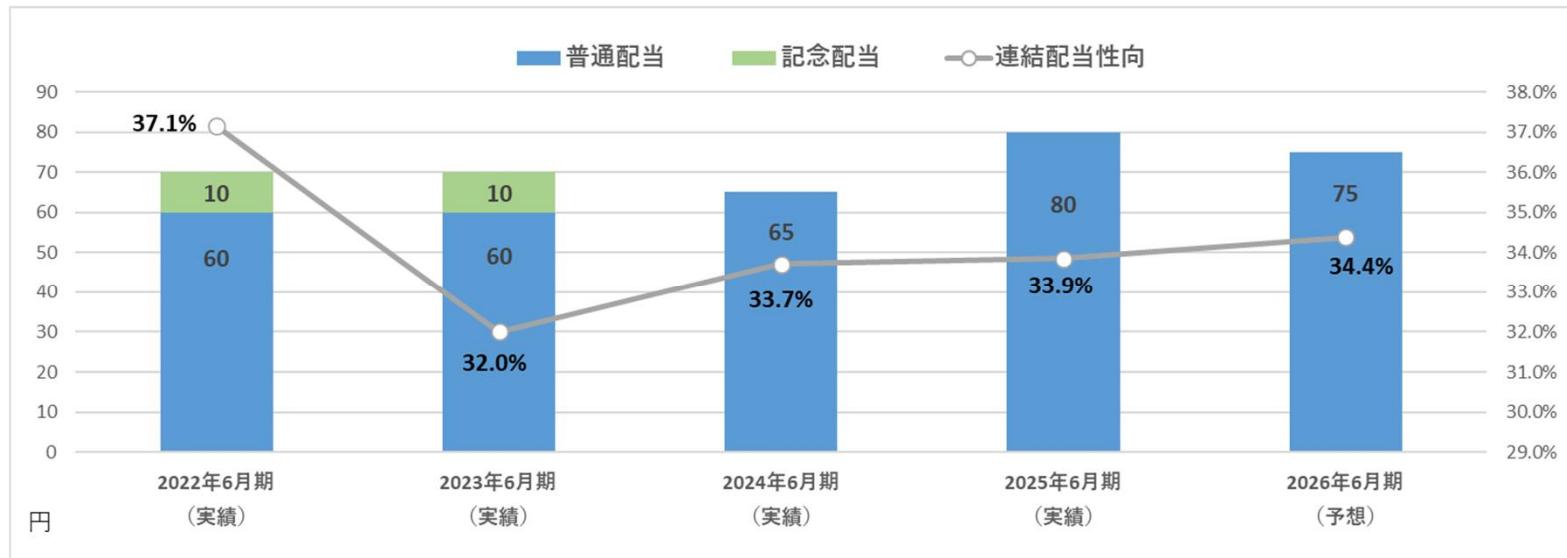
2026年6月期 配当予想

配当予想

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末
通期計画	—	—	—	75円

参考

1株当たり配当金



2026年6月期の連結配当性向は、2025年8月8日に公表いたしました連結業績予想に基づき算定しております。

配当方針

- 長期にわたる安定的な経営基盤の確保と自己資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する安定的な配当の継続を基本とします。
- 連結配当性向30%以上を当面のターゲットとして、株主の皆様への安定的な配当の継続に努めます。
- 内部留保資金は、将来の事業展開を見据え、持続的成長に向けた戦略的投資、財務レバレッジの向上と財務健全性の確保、持続的・安定的な株主還元の項目にバランスを取りながら効果的に活用することで企業価値の向上を目指します。また、自己株式の取得は、機動的な資本政策の遂行を可能とすることなどを目的として、その必要性、財務状況、株価水準等を勘案して適宜実施します。

『統合報告書2025』を発行しました



DNホールディングス株式会社 統合報告書 2025

信頼のもと、社会になくてはならない企業グループに



WEBにて全文を
ご覧いただけます。



DNホールディングス株式会社は、『統合報告書2025』を12月に発行しました。

企業理念「大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く」のもと、サステナビリティ経営により、どのような方向を目指していくのか。SDGsへの貢献だけでなく、社会課題を解決することによって自らの持続的な成長、企業価値の向上を実現するための基盤と戦略を、財務・非財務の両面から説明しております。

『統合報告書2025』の概要

- トップメッセージ
- 價値創造プロセス：DNホールディングスの強み | ESGハイライト
- 成長戦略：経営企画本部長メッセージ | 中期経営計画2026の進捗状況 | 技術本部長メッセージ | 分野別事業紹介 | クロストーク(構造保全×国土保全)
- サステナビリティ：CSR本部長メッセージ | 管理本部長メッセージ | なでしこ会会長に聞く | 取締役会議長メッセージ | 新任社外取締役メッセージ
- データセクション：主要財務情報 | 企業情報 | グループ会社連携

IRメールマガジン

投資家及び株主をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様に、当社をより一層ご理解・ご関心いただけるよう、最新のIR情報をタイムリーにお知らせします。

配信をご希望の方は、下記配信登録フォームより登録をお願いします。

URL : <https://www.dcne.co.jp/IR/mailmagazine>



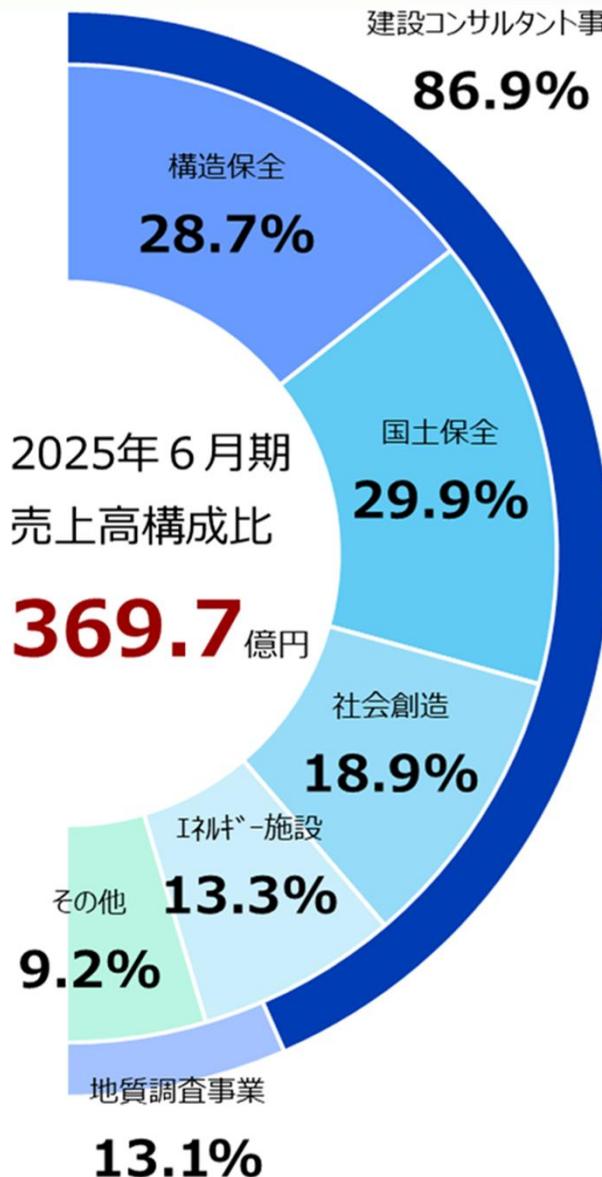
メールアドレスをご登録いただいた皆様に対して、以下の情報をメール配信いたします。

- ・T D n e t 、 E D I N E T を通じて公表した決算短信、有価証券報告書、適時開示等の情報
- ・コーポレートサイトに掲載したニュースリリース等の情報
- ・コーポレートサイトの一部新設、更新等の情報
- ・その他、皆様へお知らせすべき情報

会社概要

名称	DNホールディングス株式会社	
英文名	DN HOLDINGS CO., LTD.	
所在地	東京都千代田区神田練塀町300番地	
設立日	2021年7月14日	
資本金	20億円	
事業内容	建設コンサルタント事業及び地質調査事業等を営む子会社等の経営管理 及びこれらに附帯又は関連する一切の事業	
取締役	代表取締役社長執行役員	原田 政彦
	代表取締役副社長執行役員	藤本 弘之
	取締役副社長執行役員	吉野 正行
	取締役（監査等委員（常勤））	吉村 実義
	取締役（監査等委員（非常勤））	井上 育
	取締役（監査等委員（非常勤））	佐野 みゆき

事業概要



主な事業内容



構造保全分野

橋梁等の構造物の建設及び保全に関する業務

国土保全分野

河川・砂防、地盤防災、地質調査、物理探査、港湾等に係る業務

社会創造分野

道路、交通、都市、環境、エネルギー等に係る業務

エネルギー施設分野

原子力発電所、二酸化炭素回収・貯留（CCS）等、エネルギー施設に係る業務

その他 (海外及び施工管理)

海外での道路・橋梁事業、国内外での施工管理

建設コンサルタント業界における地位

■ <建設コンサルタント> 分野別の売上高ランキング (2024年決算)

上段/社名
下段/売上高 (百万円)

当社グループ会社である
大日本ダイヤコンサルタントが
5つの分野でランクイン



大日本ダイヤコンサルタント

2024年

- ・鋼構造及びコンクリート
- ・地 質

第1位

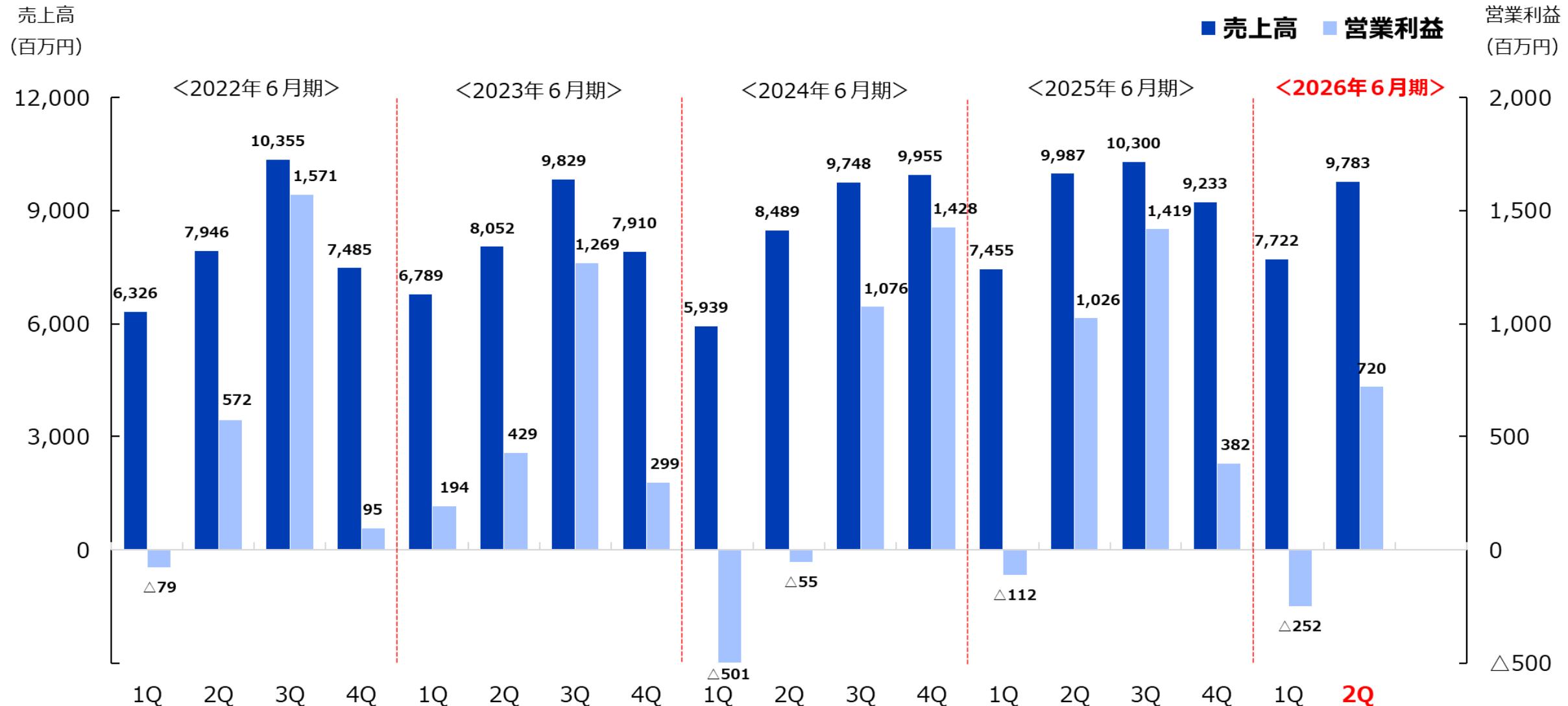
【出典】
『日経コンストラクション』
建設コンサルタント決算ランキング
(2024年決算調査)

順位	鋼構造 及びコンクリート	地 質	道 路	トンネル	地質調査
1	大日本ダイヤコンサルタント 10,631	大日本ダイヤコンサルタント 3,047	パシフィックコンサルタント	パシフィックコンサルタント	応用地質
2	パシフィックコンサルタント	応用地質	オリエンタルコンサルタント	オリエンタルコンサルタント	基礎地盤コンサルタント
3	長大	日本工営	建設技術研究所	応用地質	大日本ダイヤコンサルタント 5,414
4	オリエンタルコンサルタント	建設技術研究所	日本工営	大日本ダイヤコンサルタント 1,659	川崎地質
5	建設技術研究所	基礎地盤コンサルタント	大日本ダイヤコンサルタント 6,201	日本シビックコンサルタント	アサノ大成基礎エンジニアリング
6	エイト日本技術開発	中央開発	日本振興	エイト日本技術開発	東京ソイリサーチ
7	東電設計	川崎地質	長大	東電設計	国際航業

売上高及び営業利益の四半期別推移

ポイント

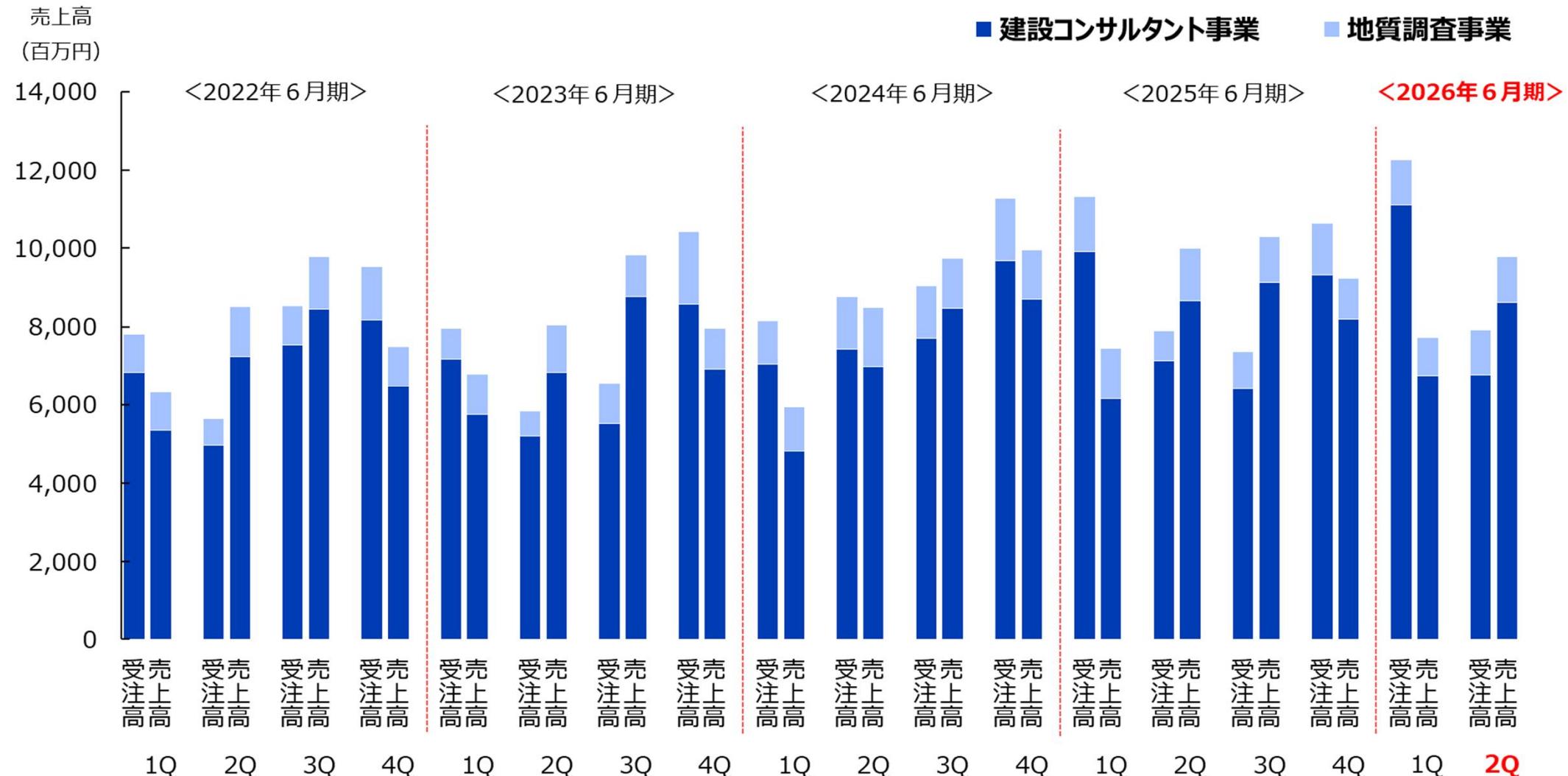
➤ 契約工期が3月に集中するため、売上高及び営業利益は第3四半期に増加する傾向にあります。



受注高及び売上高の四半期別推移（事業別）

ポイント

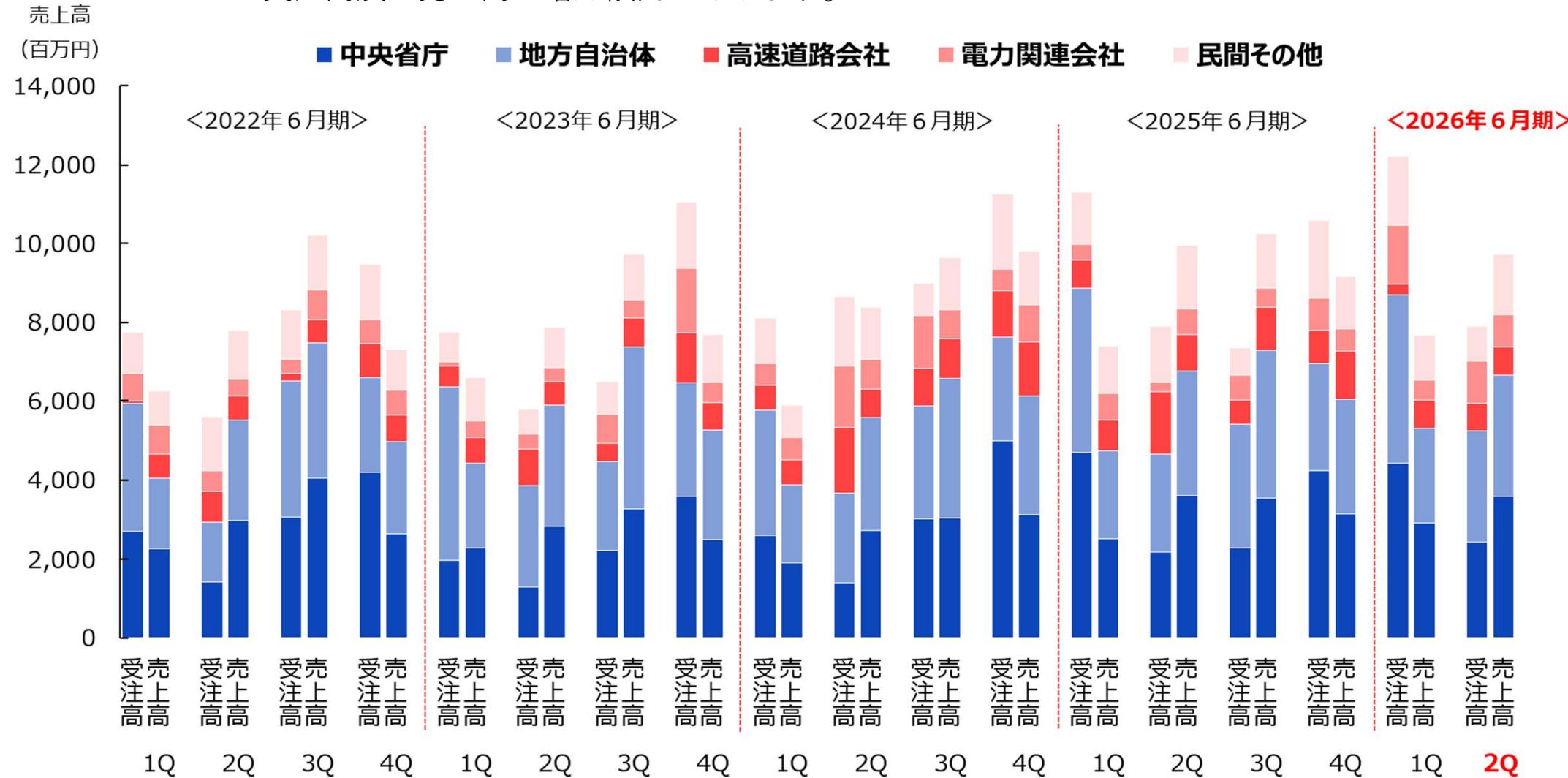
➤ 受注高は、第4四半期から第1四半期にかけて増加する傾向にあります。



受注高及び売上高の四半期別推移（顧客別）

ポイント

- 中央省庁、地方自治体からの受注高及び売上高が高い割合を占めておりますが、近年では民間企業からの受注高及び売上高が増加傾向にあります。



DNホールディングスグループ会社の概要

商号	本店所在地	設立年月	資本金	出資比率	決算期	事業内容
大日本ダイヤコンサルタント株式会社	東京都千代田区	1963年1月	13億99百万円	100%	6月30日	建設コンサルタント業務 地質調査業務
Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.	ベトナム国 ホーチミン市	1996年11月	300 (Thousands of U.S. dollars)	100%	6月30日	CAD設計業務
NEテクノ株式会社	埼玉県 さいたま市	2009年10月	20百万円	100%	6月30日	建設アドバイザリー業務 橋梁点検業務 一般派遣業務
有限会社エーシーイー試錐工業	北海道 札幌市	1990年6月	3百万円	100%	5月31日	ボーリング調査業務
株式会社ウエルアップ	奈良県 奈良市	1997年4月	50百万円	100%	3月31日	発注者支援業務 施工管理業務 点検業務
合同会社ふじおやまパワーエナジー	静岡県 駿東郡小山町	2018年8月	10百万円	80%	3月31日	発電所の管理運営
株式会社清流パワーエナジー	岐阜県 岐阜市	2015年11月	60百万円	30%	3月31日	エネルギーサービス
北の森グリーンエナジー株式会社	北海道 上川郡下川町	2024年5月	80.5百万円	33.2%	5月31日	発電所の管理運営



株式状況（2025年12月31日現在）

株式状況

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	8,420,000株

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	比率（%）
DNホールディングス社員持株会	844	10.28
光通信KK投資事業有限責任組合	496	6.04
DNホールディングス社友持株会	429	5.23
株式会社北陸銀行	325	3.97
UH Partners 2投資事業有限責任組合	294	3.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	274	3.34
古河機械金属株式会社	190	2.32
株式会社三菱UFJ銀行	189	2.31
川田テクノシステム株式会社	172	2.10
富士前鋼業株式会社	165	2.01

注1 比率は、発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する持株数の割合を示しております。

注2 大株主の表には、当社が所有する自己株式209千株は除外しております。

注3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数のうち、信託業務に係る株式数は274千株です。なお、その内訳は、信託口137千株、退職給付信託口137千株です。

株主メモ

お問い合わせ窓口

DNホールディングス株式会社 経営企画本部
電話番号：03-6675-7002（代表）
e-mail : info@dcne.co.jp

IR年間スケジュール



ホームページのご案内

企業情報、事業概要、IR情報などを公開しております。

<https://www.dcne.co.jp/>



注意事項

- 本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における当社グループの業績が、現在の当社グループの将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



DNホールディングス株式会社

人と自然が微笑む社会へ

